

卓話者＝大先輩 渡邊輝弘さん（ハーモニカ、よもやま話…）

本日は、来週（5/18）ですが、川戸親睦活動委員会のお世話で「官兵衛ゆかりの地 中津の旅」を予定しておりますので、NHK 大河ドラマの放映しております「黒田官兵衛」に、纏わる話を予備知識としてさせて頂きたいと思っております。

その「黒田官兵衛」ですが、1546 年播磨の国 姫路で誕生しました。播州、御着城主・小寺家の家老に過ぎない家柄の「官兵衛」でしたが、1546 年（22 歳）で家督を相続します。

一躍歴史の表舞台に登場したのは、織田信長に拝謁した 30 歳の頃。当時信長に会えるのは、城主クラスでしたが…！

その「官兵衛」信長から名刀「圧切長谷部」を貰います。自分に代わって戦えと云う意味です。それだけ「官兵衛」は、信長からの信頼関係が有った訳です。その後秀吉に仕えます。現在も刀は、「福岡市博物館」に収められております。

その後、いち早く、信長支持を表明し「天下布武」に対する「八面六臂」の活躍をしていきます。

そして、信長への謀反の噂のある荒木村重の説得へ単身乗り込むが失敗し捕まり約 1 年間極めて不衛生な所に牢獄されます。来週位から NHK でも 2 週（5/19、25）に渡り放映されると思いますが、身動き出来ないほど狭い牢で、一時は目も見えなくなります。味方の援軍により助け出され九死に一生を得ます。

その後、高松城を攻め水攻めを提案し軍師として活躍していきませんが、高松城攻略の際、本能寺の変を聞き、毛利輝元と対峙していた秀吉にこの好機を逃さず天下取り…をと、助言し、最強の軍師と言われるまでになります。一方、側室を持たず一人の女性を愛した愛妻家、歌や茶会を愛する文化人。そして、1583 年（38 歳）キリシタンの洗礼を受け洗礼名を「ドン・シメオン」とし、豊かな人間性を兼ね備えていました。

1586 年（41 歳）九州平定の為、豊前の国へ入国。秀吉から豊前 6 郷を与えられ行橋そして中津城へ入る。九州平定が一段落した天正 15 年 6 月秀吉は戦乱で荒廃していた博多の町に立ち寄り復興プランを「官兵衛」に命じ 52 万国を持つ福岡藩の礎を「官兵衛」と「長政」により街づくりをし、日本有数の大名になって行きました。この続きは 5/18 観光地にて改めてご確認下さいます様お願い申し上げます。

それでは、本日も楽しくロータリーライフをお過ごしください！